微生物学試験問題

１．急性上気道炎の原因となるウイルスはどれか？

　１）ロタウイルス

　２）ノロウイルス

　３）ライノウイルス

　４）ヒトヘルペスウイルス６型

２．インフルエンザウイルスについて正しい記述はどれか？

　１）A型、B型インフルエンザウイルスだけがヒトに気道感染症を起こす。

　２）有効な抗ウイルス薬が開発されている。

　３）インフルエンザの感染は空気感染である。

　４）インフルエンザワクチンの接種によって感染が予防できる。

３．結核の院内感染対策として誤っているものはどれか？

　１）患者に接する場合には、サージカルマスクをする。

　２）排菌者は個室に隔離する。

　３）届け出は感染症法に基づく。

　４）医療従事者は処置ごとに手指消毒を行う。

４．溶血性尿毒症候群を合併しやすい感染症の菌種を選びなさい。

　１）チフス菌

　２）腸管出血性大腸菌

　３）結核菌

　４）赤痢菌

５．毒素型食中毒を起こしやすい菌はどれか？

　１）サルモネラ菌

　２）腸管出血性大腸菌

　３）黄色ブドウ球菌

　４）腸炎ビブリオ

６．水系感染が原因とならない感染症を選べ

　１）ポリオ

　２）結核

　３）コレラ

　４）A型肝炎ウイルス

７．A型肝炎ウイルスについて正しい記述はどれか？

　１）A型肝炎ウイルスは肝がんを引き起こすことがあり、腫瘍ウイルスの一つである。

　２）A型肝炎ウイルスには有効な抗ウイルス薬が開発されている。

　３）A型肝炎ウイルスとB型肝炎ウイルスは食中毒の原因の一つである。

　４）A型肝炎ウイルスはピコルナウイルス科のRNAウイルスである。

８．C型肝炎ウイルスについて正しい記述はどれか？　2つ選びなさい。

　１）C型肝炎ウイルスは汚染した針の使用など血液を介して感染する。

　２）成人の感染では急性肝炎を起こし、慢性化することは少ない。

　３）C型肝炎ウイルスは肝がんを引き起こすことがあり、腫瘍ウイルスの一つである。

　４）C型肝炎ウイルスには感染予防に有効なワクチンが開発されている。

９．尿路感染症について正しくない記述はどれか？

　１）基礎疾患のない単純性尿路感染症の起因菌は大腸菌が多い。

　２）尿路カテーテル留置中の尿路感染症の起因菌は緑膿菌やセラチア菌が多い。

　３）尿路感染症は性活動期の女性に多い。

　４）尿検査は排尿開始直後の尿で行う。

１０．性器クラミジア感染症に関する記述で誤っているものはどれか？

　１）感染しても無自覚なことが多い。

　２）性感染症なのでパートナーの治療も必要である。

　３）ペニシリン系抗生剤が効く。（テトラサイクリン、マクロライドなど）

　４）経産道感染で胎児に感染することもある。

１１．性行為を介して感染するウイルスはどれか？ 3つ選びなさい。

　１）ヒト免疫不全ウイルス

　２）B型肝炎ウイルス

　３）ヒトパピローマウイルス

　４）ロタウイルス

１２．ある人に麻疹ウイルスに対するIgG抗体が検出された。その意義はどれか？

　１）終生麻疹ウイルスに感染しない。

　２）過去に麻疹に罹患しているか麻疹ワクチンを接種している。

　３）麻疹ワクチン接種が必要である。

　４）最近麻疹に感染している。

１３．水痘について誤っているものはどれか？

　１）感染予防に有効なワクチンが開発されている。

　２）帯状疱疹は小児に多い。

　３）潜伏期間は2―3週間である。

　４）健康な小児では比較的良好な熱性発疹性疾患である。

１４．マラリアについて誤っているものはどれか？

　１）アフリカや東南アジア、南米などで流行している。

　２）マラリア原虫は蚊を媒介として感染する。

　３）マラリア原虫は赤血球や肝臓に寄生する。

　４）有効なワクチンが開発されている。

１５．トキソプラズマ症について誤った記述はどれか？

　１）後天性の感染経路は経口感染である。

　２）経胎盤経路による母子感染を起こす。

　３）人獣共通感染症の一つである。

　４）不顕性感染はほとんどない。

１６．ヒトT細胞性白血病ウイルスについて誤った記述はどれか？

　１）日本では九州や四国などに比較的多い。

　２）腫瘍DNAウイルスである。

　３）HTLV-1感染の多くは不顕性感染である。

　４）母乳で感染する。

１７．褥瘡について正しいのはどれか？2つ選びなさい。

　１）筋肉や脂肪組織の多い部位に発生しやすい。

　２）頻繁に体位変換を行うと予防できる

　３）壊死組織は自然に吸収されるのを待つ。

　４）排泄物の汚染は感染症を起こして褥瘡を悪化させる可能性がある。

１８．経胎盤感染を起こさないウイルスはどれか？

　１）サイトメガロウイルス

　２）風疹ウイルス

　３）ヒトパピローマウイルス

　４）ヒトT細胞性白血病ウイルス

１９．破傷風について誤った記述はどれか？

　１）破傷風菌の毒素は神経毒で、強直性痙攣をおこす。

　２）破傷風による死亡率は20−50％と非常に高い。

　３）破傷風ワクチンは３種混合ワクチンの中に含まれており、日本での発病はない。

　４）破傷風に対しては、血清療法を行うことも可能である。

２０．薬剤耐性菌について誤った記述はどれか？

　１）MMRSAは通常の黄色ブドウ球菌に比較して感染力が強い。

　２）MRSA感染の感染経路はほとんど接触感染なので汚染した場合の洗浄・消毒が重要。

　３）MRSAは消毒剤に対して抵抗性を示す。

　４）ウイルスにも抗ウイルス薬耐性ウイルスが出現している。

学生番号　　　　　　　　　　　　　　氏名

１．

２．

３．

４．

５．

６．

７．

８．

９．

１０．

１１．

１２．

１３．

１４．

１５．

１６．

１７．

１８．

１９．

２０．